

おぢや

市議会だより



NO. 93

令和1.7.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



おぢやファイトクラブ

今年で19年目を迎えるおぢやファイトクラブは、クロスカントリースキーをメインに活動しています。

卒業生は全国大会等でも活躍しており、昨年の妙高国体では優勝した少年男子リレーのメンバー4名中3名がクラブの卒業生と、とても喜ばしい出来事でした。そんな先輩を目指し、小中学生の子どもたちは日々練習に取り組んでいますが、競技力の向上だけにとらわれず、競技をすることの楽しさも伝えながら少しでも長く競技を続けてもらえるよう、子どもたちを育成・指導していきたいと考えております。

- 議員として取り組む議題や抱負 P2~3
- 第1回臨時会議決結果 P3
- 議長・副議長あいさつ P4
- 第2回定例会議決結果 P4
- 常任委員会報告 P4~5
- 一般質問 P5~9
- 第3回定例会開催予定他 ... P9
- 議会日誌 P10
- 雪あかり、編集後記 P10

—主な掲載内容—

議員として 取り組む 課題や抱負

議席番号順
(町名・会派)



2 平澤 智

(桜町上・水明会)

今回から市議会の仲間入りをさせていただきました。地域振興、産業振興、文化振興を三本の柱として小千谷市の発展の為に汗をかかせていただきましたと考えております。毎日が勉強であります。毎日実践に移し結果を出したいと思います。



4 駒井和彦

(山谷(岩沢)・黎明クラブ)

人口減少等による地域の衰退、特に中山間地域の活性化を至上命題として取り組みます。具体的には、地域にお金の落ちるシステム作り、交流人口増から関係人口増、最終的に移住、定住人口の増加に繋げる施策を、提案、行政と一体で実行します。



6 佐藤栄作

(津山町・黎明クラブ)

小千谷市の特性を生かした地方創生、高齢者が安心して快適に生活できる環境整備の充実、病院跡地の図書館を核とした施設に伴う商店街の活性化等多くの課題があります。いろいろな課題が出てくると思いますが勉強して解決していきます。



8 住安康一

(平沢2・公明党)

「小さな声を市政に反映！徹して一人のために」を信条に、地域に活力、暮らしに安全、若い人が輝く街を目指します。高齢者や子育て世代、障がいのある方でも安心して暮らせる住みやすい街を。雇用・景気対策の推進。若者の活力で地域を元気に。



1 阿部守男

(山本・黎明クラブ)

ふるさと小千谷の魅力ある農業で若い力を呼び戻す。地域に貢献、持続可能な地域づくりをめざす。強い農業、繋いでいく農業、意欲ある人にベテランによる技術の伝承。3R運動、食材ロソゼロ。住みやすい町、子供達高齢者に優しい地域づくり。



3 上村行雄

(藤田沢・新政クラブ)

豊かな生活と安心安全なまちづくりを目指し、中心市街地の活性化と農商工連携による経済の振興を図り、地域資源や地域コミュニティを大切に守り続け、小千谷市の更なる発展と未来のために全力で取り組んでまいります。



5 大矢弘光

(屋敷・無会派)

行政のチェックだけでなく、政策提案できる能力を目指す。地域の何でも相談役として、課題の発見と解決に取り組む。視点①働き手確保②市の知名度やイメージ向上③住宅・子育て・教育の環境充実④行政と地域が連携しての高齢者生活支援。



7 森本恵理子

(船岡1・新政クラブ)

2期目の活動は、1、医療は命を作る。2、産業は街を作る。3、教育は人を作る。の三本柱を中心に、人口減少の抜本的対策として特に教育に力を注ぎます。小千谷の未来のために、何より今を生きる私たちのために、全力で取り組んでまいります。



9 内山博志

(山谷(城川)・日本共産党)

原発ストップ、自然エネルギー、国保、介護保険の負担軽減を保育、教育費の負担軽減を高齢者の屋根雪除雪対策強化消雪パイプの負担軽減、解消へサイフに優しい交通網の確立家族農業と自然環境を守る政治あなたの声を市政に届けます。



10 佐藤 隆一

(土川2・無党派)

安心・安全な環境を次世代へ

これまで12年間にわたり通学児童の見守りや小千谷小学校などで絵本の読み語りを行ってきました。

大量消費社会が限界を迎える中で、大人が自信をもって社会制度の変革に立ち向かうことが重要です。



12 久保田 陽一

(東栄1・新政クラブ)

雪や災害に負けないまちづくり

り、福祉と医療の充実で誰もが住みよいまち、子育て支援・教育環境の充実、市民協働や産学官連携で地域や経済の活性化、伝統文化・芸能の保存・継承と発信、錦鯉の国魚指定などに、2期8年の経験を活かし取り組みます。



14 田中 淳

(本村・黎明クラブ)

農業基盤確保の為に柔軟且つ継続的政策の推進。

医療介護総合確保推進法に基づく地域づくりの推進。雪害対策・自然災害への対応を含むインフラ整備の拡充。小千谷市の教育の充実と文化歴史の発展への取り組み。



16 本田 剛

(平沢1・水明会)

人口減少の一環としての地場産業の振興と活性化による若者定住雇用拡大と地域の特性や資源を活かした活気あるまちづくりに取り組みます。与えられた16年間の議員経験の役割を活かし市民からの市政への代弁者として、政策に全力で努めます。



11 吉崎 進

(旭町・水明会)

東小千谷地区の課題となっている流雪溝用水確保、住居表示改正、表沢川の全線改修等に全力を注ぎます。次に、障がい者支援施設、日中一時支援の充実を目指します。また、高等看護専門学校の誘致に取り組みます。



13 長谷川 有理

(城内4・無党派)

市民目線で議会改革。医療・福祉・保健の連携で安心して暮らせるまち。女性・若者の想いを市政で実現。もっともっと子育てしやすいまち。環境に優しいエネルギー施策促進。農業の持つ多面的機能を評価する施策を。ものづくりの現場に光と活力を。



15 山賀 一雄

(城内1・新政クラブ)

小千谷市の発展は、その一つに中心市街地、商店街の活性化が大きく関わっております。旧小千谷総合病院、魚沼病院跡地の利活用に注目し、これまでの議員経験を生かして「健康で安心して暮らせるまちづくり」に努めてまいります。

令和元年小千谷市議会 第1回臨時会 議決結果

5月14日に開催し、専決処分
の承認、正副議長を選出、各委員
会等の新しい構成を決定しま
した。

専決処分

○専決処分(小千谷市税条例の
一部改正) (全会一致)

○専決処分(小千谷市都市計画
税条例の一部改正) (全会一致)

○専決処分(小千谷市国民健康

保険税条例の一部改正)
(全会一致)

○専決処分(小千谷市介護保険
条例の一部改正) (全会一致)

議会構成等の決定

▽議長 田中 淳

▽副議長 久保田陽一

▽総務文教委員会

○上村 行雄

○長谷川有理

平澤 智 大矢 弘光

佐藤 栄作 森本恵理子

内山 博志 田中 淳

▽民生産業委員会

○住安 康一

○佐藤 隆一

阿部 守男 駒井 和彦

吉崎 進 久保田陽一

山賀 一雄 本田 剛

▽議会運営委員会

○本田 剛

○内山 博志

上村 行雄 駒井 和彦

森本恵理子 住安 康一

(○委員長、○副委員長)

▽魚沼地域特別養護老人ホーム
組合議会議員 久保田陽一

▽新潟県後期高齢者医療広域連
合議会議員 住安 康一

その他

○小千谷市監査委員(山賀一雄
の同意) (全員賛成)

就任あいさつ



議長
田中 淳



副議長
久保田陽一

5月14日に開催されました臨時市議会において、議員多数の御推挙により前職から引き続き連続で市議会議長に就任いたしました。

身に余る光栄であり、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、地方自治体を取り巻く環境は、国の地方創生働き方改革などにより様変わりしており、当市においても少子化問題や子育て支援、医療福祉対策、防災対策などに加え、労働力不足が近年顕著となってきており、議会の果たす役割がより一層大きなものとなっております。

小千谷市議会基本条例を制定し、さらに市民のみなさまが完全に安心して生活できるまちづくりのため、議員全員が精一杯努めてまいりますので、議会への御支援と御協力をお願い申し上げます。

このたびの副議長選挙におきまして、議員各位の御推挙により、伝統ある小千谷市議会第37代副議長に就任いたしました。責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

小千谷市議会基本条例が本年4月1日より施行され、令和時代の幕開けにふさわしい、より開かれた、より身近な議会構築のために、経験豊富な田中議長を先頭に、全議員でスクラムを組みながら、小千谷市の諸課題に誠心誠意取り組みたいと思っております。また、二元代表制の下、市民の負託に的確に応え、市政の発展につながるよう、議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、議員各位、市民の皆様からの御指導御鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

第2回定例会 議決結果 (6月7日から6月27日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果
条 例	議案第35号 小千谷市税条例等の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第36号 小千谷市の公の施設の指定管理者の指定手続に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第37号 小千谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第38号 小千谷市火災予防条例の一部改正	〃	〃
	議案第39号 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
	議案第40号 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
予 算	議案第41号 令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第42号 令和元年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
その他	議案第43号 契約の締結〔旧小千谷総合病院解体工事〕	〃	〃
	議案第44号 財産の取得〔消防ポンプ自動車〕	〃	〃
	議案第45号 人権擁護委員候補者の推薦〔関昌子氏〕	〃	同意
発 議	発議案第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	〃	原案可決
請 願	請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案5件について、4件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案5件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第35号 小千谷市税条例等の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、関係する条文の改正及び所要の規定を整備するものです。

○議案第36号 小千谷市の公の施設の指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、旧小千谷総合病院跡地整備事業において、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律、いわゆるPFI法に規定する選定事業者を指定管理者の候補者として選定することができるよう改正するものです。

○議案第37号 小千谷市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、災害弔慰金の支給等に関する法律が改正されたことに伴い、災害援護資金の貸付利率を無利子とするものです。

○議案第38号 小千谷市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、住宅の部分に特定小規模施設用自動火災報知設備を設置した場合は、住宅用防災警報器等を設置しないことができ、規定を追加すること、防火対象物における重大な消防法違反が認められた場合は、その旨を公表することができる規定を追加するものです。

○議案第41号 令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第1号)について

本案は、国庫補助金の対象となる事業に関連する経費のほか、(仮称)健康・子育て支援センター1整備工事費の計上など、緊急を要する経費について予算の補正を行うもので、歳入歳出それぞれ1億5723万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ187億723万4千円とするものです。

○請願第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願について

本請願は、子どもたちが豊かな人間関係の中で教育が受けられるよう少人数学級を推進すること。義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に還元することを求める意見書を国の関係機関に提出いただきたいというものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案3件について、慎重に審査した結果、議案3件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第39号 小千谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国が示す「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第40号 小千谷市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国が示す「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

○議案第42号 令和元年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

本案は、10月に行われる消費税の引き上げに合わせて、介護保険の第1号被保険者のうち、所得段階が第1段階から第3段階の被保険者の保険料を軽減するための介護保険条例の一部改正に伴い、予算の補正を行うものです。

市政の内容を聞く 一般質問

一般廃棄物基本計画の見直しについて

佐藤 隆一 議員

質問 小千谷市のリサイクル率が増加しない原因は。

答弁 平成24年まで増加し、25年から減少している。事業系ご

議員永年表彰者

全国市議会議長会
北信越市議会議長会
20年表彰 風間 順一

みのリサイクル率を把握していないため、その分がリサイクル率に反映されてない数値となっている。

質問 プラスチックによる海洋汚染で深刻な影響が出ており、社会情勢が大きく変動している。人口減少を加味した排出量削減の数値目標を示すべきではないか。

答弁 小千谷市において大きな変動があるとは考えていない。家庭系ごみの総排出量は、令和7年度27%減と計画している。

質問 徳島県上勝町の先進的な取り組みの調査について。

答弁 上勝町は100%のリサイクルを目指して、ゼロ・ウェイストを進めている。ごみ焼却施設を長寿命化計画により、できるだけ長い期間維持したい。上勝町など参考事例を研究したいと考えている。

質問 ごみ処理場見学会や環境学習会など企画したかどうか。

答弁 小学生対象の見学会を毎年企画している。同時に環境やリサイクルについての学習会を実施している。



ゴミの分別作業

ドアツードアの公共交通、住宅リフォーム

内山 博志 議員

質問 ふるさと納税の寄付金額

は、平成30年度は一気に6億円にせまった。振れ幅の大きな不安定な財源だが、旧小千谷総合病院跡地事業への活用も可能と考えるが、どのように使おうとしているか。

答弁 寄付金の使途指定状況は、平成30年度実績で小千谷市のま

ちづくり全般が約42%、教育、文化、スポーツ関連事業が約22%、福祉、健康、医療などに關する事業が約16%とこれで80%を占める。ソフト事業の展開やランニングコスト中心に検討したい。

質問 高齢者を始め、移動手段としての公共交通の確保、充実は重要だ。戸口から戸口（ドアツードア）で成果を上げている燕市の良い例もある。燕市では、1時間に1本の割合で6台のデマンドタクシーを運行している。中学生以上300円、小学生100円と魅力的だ。市の生活交通確保計画をタクシー事業者の意見を交え早期に具体化すべきではないか。

答弁 市では、路線バス廃止の代替交通としてデマンド型乗合タクシーを運行している。難しい問題だが、小千谷地域公共交通協議会で意見を伺っていき

たい。

質問 池ヶ原地域の中学生の帰り時間が夜7時過ぎになる。改善は。

教育長答弁 路線バスの待ち時間が長いときはスクールバスで対応している。不都合があれば学校と保護者で相談し、教育委員会に聞かせてほしい。

質問 住宅リフォーム補助制度の復活、継続すべきではないか。

答弁 経済対策として、消費税の動向を見ながら検討する。



乗合タクシー

熱中症事故対策、発達障がい児支援について

森本恵理子 議員

学校管理下における熱中症事故対策について

質問 平成2年度から24年度ま

での学校の管理下における熱中症死亡事例は80件。保護



者が絶対の信頼を置く学校管理下で犠牲になっている。当市の中学校の運動会は9月第1週が多い。生徒全員が炎天下で運動をする状況を適切と捉えているのか、その目的と併せて伺う。

教育長答弁 心身の健全な発達や運動に親しむ態度の育成などが目的。気候と運動会という点で考えれば涼しい時期を選ぶ考えも理解できるが、年間行事の全体バランス、新人大会が9月中旬から下旬に実施されることを考えると9月上旬以外の実施は難しい。

質問 子どもが犠牲になってから時期を再考するのであれば、今すべきと考えるが見解を伺う。

教育長答弁 命を最優先にしなくても暑さに負けない体力作りも必要と考える。今後、議論を重ねていく。

発達障がい児の支援環境等

質問 昨年5月、文科省と厚労省による家庭と教育と福祉の連携を推進するトライアングルプロジェクトが通達された。それ

に伴い、保護者同士の交流の場等の促進について当市の取組は

答弁 子育て支援センターにおいて療育事業プレイ教室を週1回開催。今後も継続していく。

質問 障がいを抱える方々の「親なき後」を心配するご家族に対して市の対応は。

答弁 第5期小千谷市障がい福祉計画では、地域生活支援拠点等の整備として、居住支援のため相談など障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制の構築を目標としている。

持続可能な小千谷市の発展への諸課題

長谷川有理 議員

統一地方選挙における課題

質問 立候補者や投票率の増加への課題克服をどう認識するか。

答弁 議会からも提案いただき、行政として出来ることを検討する。

長岡官製談合事件を他山の石に

質問 職員向けアンケートを実施し、長岡市の改革・改善策やマニュアルを当市でも導入すべき

答弁 当市では適切な運用・関係が保たれている。長岡市の制度の改善は注視していきたい。

質問 県や他市から指名停止を受けた業者は当市でも指名停止か。

答弁 当市に登録していれば指名停止。ホームページには掲載していないが、入札担当の部署のカウンターで閲覧できる。

質問 職員を守る対策必要では。

答弁 職員の情報漏洩が大問題。8050問題に象徴される社会からの孤立化問題について

質問 当市の現状把握と課題は。

答弁 平成30年度対象者は40人。詳細な実態把握は進んでいない。必要な支援につなげるよう努力している。

質問 相談窓口や支援内容の明確化や訪問活動はできているか。

答弁 市の各部署や地域包括支援センター、障がい者基幹相談支援センターが総合的相談の中で対応。当事者と接触することが難しいことから、家族や近親者との関係を築きながら当事者支援へつなげたい。

当市の持続可能な農業課題とは

質問 多数の小規模家族農業や高齢農業者への支援は。

答弁 地域ごとに農機具の共同化や集落営農組織化進めたい。高齢者への直接的な支援はない。

質問 農福連携では具体的な成功事例の周知やマッチングを図

答弁 人材を育成するのが課題では。地域の理解・啓発を進めたい。



生活交通・地域おこし協力隊について

駒井 和彦 議員

質問 運転免許返納者へのケア、サポートをどう考えているか。

答弁 小千谷警察署と地域包括支援センターと連携した相談体制をスタートした。地域でも組織の取り組みの中で進める。

質問 生活

交通を地域と一緒に、なって検討、取り組みべきでは。



答弁 現在も行っている。引き続き連携して考えていく。

質問 行政・民間・研究機関の連携した実証実験をスタートすべきではないか。

答弁 通告において具体的な方法や内容が明らかでないため、コメントできない。

質問 所管は観光交流課ではなく、福祉系の部署が担うべきと考えるが。

答弁 中山間地域との関わりや関係機関との様々な連携の観点から、現在の観光交流課が適当と考える。

質問 地域おこし協力隊員の任期中、任期終了後のサポート体制について。

答弁 専門の担当職員を配置し、多岐にわたり物心両面でサポートを行っている。その結果、任期を終えた隊員12名のうち10名が当市に在住、在勤しているほか、企業補助金の活用による2件の起業や新しい家族も増えるなど、当市の活性化と人口増に寄与している。

質問 地域おこし協力隊員についての評価と今後の展望、方向性について。

答弁 市内に新しい風を吹き込み、地域の活性化とともに、当

市の定住人口増加に貢献しているものと評価している。今後は隊員と地域ニーズのマッチングや情報共有をより丁寧に行いながら、制度を利用していく。

ちぢみの里の現状と今後について

上村 行雄 議員

質問 ちぢみの里の維持管理を含めた方向性と方策についてどのように考えるか。

答弁 ちぢみの里は、平成20年度から利用者のサービスの向上と効率化を図るため、指定管理者制度に移行し現在に至っている。今後も管理運営を継続し、地域間の交流促進や市民福祉の向上に努めていく。

質問 国道からの直接的乗り入れや接続について、これまで国道管理者と協議や検討はされてこなかったのか。また、今後検討する考えはあるか。

答弁 道の駅建設にあたっては、既に完成していた国道17号バイパスの接続や地元町内の要望など、様々な課題に対応するため入念に協議した結果、現在の乗り入れ方法に決定した経緯がある。

今後、直接乗り入れの可能性については、国土交通省と相談したいと考えている。

質問 10月からの消費税増税に伴う入館料はどのように対応するのか。

答弁 入館料の対応については、来館者数への影響やシステムの改修費を含めて費用対効果も考慮し、現在指定管理者と慎重に協議している。

質問 人口の減少により入館者の減少が予想されるが、新たな客層の開拓や設備の充実などは検討されているのか。

答弁 公共交通事業者との連携やオリジナル商品の開発など、指定管理者から更なる営業努力を期待するほか、施設整備については協議しながら、お客様の



ちぢみの里

増加に繋げたい。

質問 かねてから要望のある宿泊施設の検討と今後の方向性は。

答弁 現段階で市がちぢみの里を宿泊施設とする考えはない。

道路損傷・シンクタンク・交通費支援

住安 康一 議員

質問 市民が道路の損傷や危険箇所等を発見したとき、その危険箇所等をスムーズに行政に伝えることができ、行政の素早い対応につながり、市民にとって行政の対応状況の確認ができるようになるため、アプリを活用して、道路の損傷や危険箇所等を簡単に通報するシステムを導入すべき。

答弁 先行自治体での有効性を確認するとともに、導入の可能性について研究したい。

質問 これまで以上の政策立案能力の向上や、教育による人材育成、各課との連携、予算を抑えることを考えた時には、従来にはない組織である自治体シンクタンクを「政策研究機能」「政策立案機能」を分離・独立させるといふ意味で、企画経営係と

と

は別に組織内に作るべき。

答弁 社会全体のあらゆる分野で多様化・複雑化が進む中で、根拠をもって行政課題に向き合っている。実効性の高い政策立案を行う重要性が増していることは認識している。しかし、部門を新設しても施策を実行するまでの工程や部署間の連携の複雑化が懸念される。現行の体制とする。政策立案能力の向上をはじめとした人材育成については、今後もしっかり取り組む。

質問 市外の通所サービス事業所に通う場合には交通費の助成がない。助成すべき。

答弁 助成を開始した平成20年度に比べ、通所サービス事業の利用者が増加し、市内の通所サービス事業所が不足しているという現状を踏まえ、やむを得ず市外の通所サービス事業所に通所する障がい者についても、支援方法を早急に検討する。

東小千谷地区の流雪溝用排水と揚水機場新設について

吉崎 進 議員

質問 津山地区の川口側に4年

前に2600万円で作成した流雪溝用排水は津山揚水機場の用水

を使用する予定となっていた。この津山揚水機場は元来農業用水として使用することを前提としている。それを冬期間流雪溝用水として利用させていただいている。私は津山地区の流雪溝を整備する前に用水確保が必要と前から話していた。用水確保ができないうちに流雪溝が完成し、その結果、この4年間積雪時に流雪溝に水は流れていない。一日も早く利用できるようなする方策を示してほしい。

答弁 平成26年に増加する延長に合わせて取水量を増量する方向で国と協議したが、信濃川全体の水収支の問題があり、増量に至らなかった。現状、十分な水量でないことは承知しているが、今後、当市が流雪溝の運営を委託している東小千谷地区克雪協議会に対して、関係する町内間の調整が円滑に進むよう働きかけていく。

質問 糞生揚水機場に関し、冬期間の信濃川の濁水により取水できなかつたり、用水管の破損により流雪溝に流すことができないう状態になっている。流雪溝用水を確保する必要があるが、

市長の見解を伺う。

答弁 根本的な取水施設改良について県と協議を行い、平成29、30年の2箇年で、糞生揚水機場からの取水による全流域ルート等の調査を実施してきた。この調査結果を活用し、今後も引き続き小千谷維持管理事務所と施設の改修等について協議していく。



4年前に完成した流雪溝（津山地区）

スポーツで地域活性化・聖火リレーについて

久保田陽一 議員

質問 種目に特化したスポーツを通じた活性化や魅力発信は。

教育長答弁 小千谷市は官民の連携でジュニア育成が盛んなこ

とから、特定の種目に特化することは考えていない。

質問 プロチームの誘致等でのまちおこしが必要では。

教育長答弁 今後、サッカーやルビレックス新潟のホームタウンとなる予定がある。体育館で行う各種競技のプロチームの誘致や立ち上げは、現段階ではコーディネートや支援する企業、市民団体などによる組織が出来ない限りは難しい。

質問 スポーツコミッションの設立が必要では。

教育長答弁 組織、財政、運営主体をどのようにするかを考えていくべきであり、行政が主体となつて対応する予定はない。

質問 東京2020オリンピック聖火リレーについて、どこにいつ要望したのか。

教育長答弁 昨年、県の担当課からの聖火リレールート意向調査に対して、実施希望の回答をしている。その他に要望は行っていない。

質問 オリピックでの小千谷縮の売り込み等で聖火リレールートの要望はしなかったのか。

教育長答弁 行っていない。

めるのか。杉並区との連携は。

教育長答弁 今年度はオリンピック・パラリンピアンを招いた講演会やトークショー、企画展などを開催予定。来年度については、杉並区と当市を含む交流自治体が、オリンピック・パラリンピックに関して何ができるか意見交換を始めたところ。



融雪施設の補助金・ふるさと納税について

山賀 一雄 議員

質問 電気料金の補助対象期間を翌年の4月までとするべきではないか。

答弁 事務の煩雑さから年度末としたが、今春4月のような積雪もあるので、補助金交付要綱を改めて検討する。

質問 融雪施設を管理運営する団体等でも、施行者として認定することができないのか。

答弁 町内会長等の意見を聞く中では、「町内会としても把握したい、特に不便を感じない」等の意見が多いことから施行者に

関する要綱の改正は行わない。
質問 ふるさと納税の状況等、
 現行制度をどのように捉えているか。

答弁 制度の目的である、生まれ故郷や世話になった地域へ寄附の形で応援することは評価できる。自治体間競争が過熱することに対し、総務省が一定の線引きしたことは理解できる。

質問 今後、ふるさと納税の推移をどのように見込むか。

答弁 寄附者の意思によるもので、恒久的財源ではないので推計は困難である。

質問 ふるさと納税の対象とならない団体として指定された泉佐野市とは、特産品相互取扱協定を締結しているが、今後、同市との連携をどのように考えるのか。

答弁 協定は、経済と観光産業の発展に寄与することを目的に締結したもので、互いに特産品を販売等しているため、今後も交流を継続していく考えである。

質問 現行ふるさと納税制度への取り組み等、見解はどうか。

答弁 関係人口の増加に繋がるとともに、貴重な収入でもあるので、制度に則り、特産品を多数用意して、寄附をいただく取り組みを継続していく。

本会議をインターネット中継しています

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

また、会議録も市ホームページで閲覧できます。

一般質問等の詳細は「会議録の閲覧と検索」をご利用ください。

(令和元年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。)

スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/>



市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

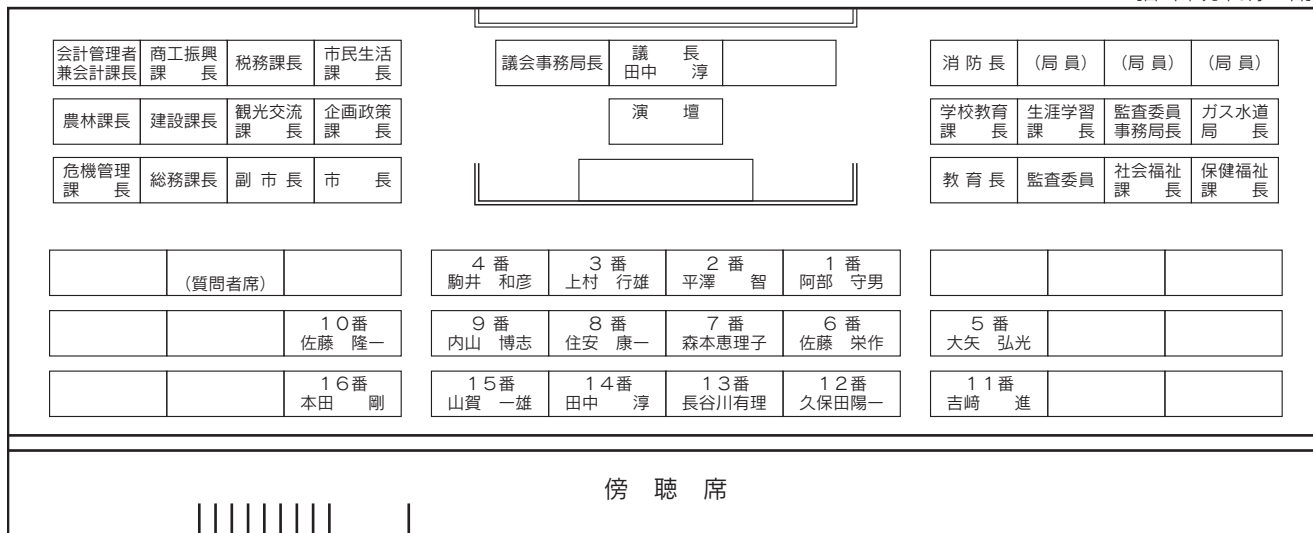
- 9月2日(月) 第1日 議案上程説明
- 9月3日(火)～6日(金) 各常任委員会で審査
- 9月19日(木) 第2日 一般質問
- 9月20日(金) 予備日 一般質問 (質問者が多い場合に開催)
- 9月25日(水) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局 (TEL 83-3505) へお問い合わせください。

委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

小千谷市議会議場見取図

[自:令和元年5月14日]



〔4月〕

- 9日 議会報編集委員会
- 〃 北信越市議会議長会定期総会（福井市）
- 14日 市議会議員選挙告示日
- 21日 市議会議員選挙無投票
- 23日 議会運営委員会

7日 第2回定例会（本会議）

- 〃 広聴広報委員会
- 10日 全国市議会議長会理事会（東京都）
- 11日 全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 12日 常任委員会連合審査会
- 13日 総務文教委員会
- 14日 民生産業委員会
- 16日 旧小千谷総合病院跡地整備事業における議員勉強会
- 24日 議会運営委員会 本会議（第2日）
- 〃 本会議（第3日）
- 25日 広聴広報委員会 議会運営委員会 本会議（第4日）
- 27日 〃

〔5月〕

- 1日 新議員16人就任
- 2日 議員打合せ会
- 8日 会派代表者会議
- 13日 会派代表者会議
- 14日 第1回臨時市議会
- 〃 総務文教委員会
- 〃 民生産業委員会
- 〃 議会運営委員会
- 22日 新議員予算説明会
- 28日 議員協議会
- 〃 議員市内視察
- 〃 議員全員協議会
- 〃 議員クラブ会
- 30日 県特別豪雪地帯市町村議会定期総会（柏崎市）
- 31日 議会運営委員会

〔6月〕

- 6日 上越新幹線活性化同盟会総会（新潟市）



75



樋口リヨ子（旭町）

笑和会は認知症の方の家庭を訪問し、お話し相手をするボランティアです。今年度は会員36名でスタートしました。毎年新規会員を募集中です。

若い時いっぱい働いて、頑張ってきた少し先輩の人達が、年を重ねて腰がまがり、耳が遠くなった、体のいろいろな機能がこわれてきた、その中の一つが認知症だと思えます。だれもが絶対にかかりたくない病気だと思えます。初期の頃は、プライドが傷つきやすく、周りの人の接し方で病気の進み方がかなり違うと思います。私達は相手の気持ちを受けとめ、楽しくお話しがはずむように心がけます。特に昔々の話しが盛り上がるよう

です。

おじいさんとおばあさんの2人暮らしの家庭で、おばあさんが認知症を発症、病気が少しずつ進んでいる様子、おじいさんも歳を重ねて、足が痛く、炊事に洗濯におばあさんの世話となくかとお大変な毎日なのに、おばあさんが大昔の悪口を言っても、嫁いだころのくどきを言ってもただ笑っているだけ、夫婦同士おばあさんは楽しそうに昔々の話しを思い出すがままに話してくれます。おしゃべりが認知症にはとても良い薬と聞いています。

訪問し、家庭の方々とお会いして、そのやさしさや思いやりが気づかされるこのごろです。昔々の子供の頃の話はたのしいですね。



編集後記

市議会議員改選後はじめての臨時会・定例会が終わりました。議会基本条例により新設された広聴広報委員会の所属となった議会だより編集委員も次の通り決まりました。

座長 久保田陽一

編集委員長 大矢 弘光

副編集委員長 平澤 智

編集委員 阿部 守男

編集委員 駒井 和彦

編集委員 上村 行雄

編集委員 住安 康一

編集委員 内山 博志

座長を含むこの8名は、市民の皆様へ議会だよりを通して、様々な情報の提供に努めてまいります。

さて、市議会議員選挙が無投票となりました。是非とも各議員の考えを知る機会が欲しい、とのご意見を頂戴したことも鑑み、本号において「各議員の取り組み課題や抱負」を掲載することとしました。

このように今後も皆様の声を紙面づくりに反映してまいりますので、ご意見・ご感想をお待ちしております。

編集委員長 大矢 弘光